

第3学年 総合的な学習の時間 活動略案

令和8年5月27日 5校時 教室

3年4組 34名

1 単元名 「大豆プロジェクト(仮)」

2 本時のねらい

- ・大豆と大豆を使った食品を5感で感じ、その特徴に気付くことを通して、大豆という材に対する問いをもつ。

3 教師の願い

- ・大豆の観察や体験を通して、「どう育つのか」「他にどんな食品になるのか」など自分の問いをもってほしい。

4 本時の展開(3/52)

時間	主な活動内容	○・・・留意点等 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評</span> ・・・評価
5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「大豆」をよくみて、さわって、食べて、ひみつをみつけよう</div> <p>1. 大豆について、よく知るために、前回調べてわかったことを振り返る。 C:大豆はこうやって育てるよ C:いろんな料理に使えるよ C:とれたての大豆は柔らかい</p>	<p>○活動前に手を洗うよう促す。 ○大豆についてよく知るということをテーマに前時と本時のつながりを持たせる。</p>
35分	<p>2. 大豆(乾燥)をみせる。 C:薄い茶色で、皮がついている C:節分のときに、投げる豆だ。香ばしいにおい。 C:皮の中はどうなっているかな。二つに割れそう。中はどうなっているのかな。 C:食べてみたい。かたいな。味が薄い。 C:どのようにして、実がなるのかな。</p> <p>3. 大豆が変化する食品を食べてみる。 C:大豆のにおいがかすかにするかも。 C:大豆の味を感じるものもあるけど、これはあんまり大豆の味を感じない。</p> <p>4. 疑問に感じたことや感想を伝え合う。 C:これらの食品を作ってみたい。 C:これらの食品の作り方を調べてみたい。 C:レシピを作ってお家でやってみたい。</p>	<p>○児童の「～してみたい」という思いをひろう。 ○やってみた気付きを共有する。 ○「節分のときに」という言葉が出たら、日本文化において重要な食品であることを伝える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評</span>観察を通して、気付いたことや特徴をまとめたり、発表したりすることができる。</p> <p>○きなこ、豆腐、豆乳、納豆、しょうゆ、枝豆を用意する。枝豆のみ、教室内で加熱処理を行う。 ○感想や質問を伝える時間を設ける。</p> <p>○自分の考えを整理し、理由をもって作りたい大豆料理を選ぶよう促す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評</span>観察を基に、疑問や感想を伝え合いながら、何を作ってみたいか、どんなことを調べてみたいか、自分の考えと理由を表現することができる。</p>
5分	<p>6. 学習の振り返り C:大豆は育ててみたい。 C:大豆を使った食品を作ってみたい。</p>	<p>ロイノートを使用し、活動の記録を残す。</p>